

新入生合宿研修を終えて

歯学教育研究開発学分野 塩見 晶

平成28年4月9日（土）、10日（日）の2日間、新年度のスタートにふさわしい満開の桜の中、新潟市西区赤塚のメイワサンピア新潟にて新潟大学歯学部新入生合宿研修が行われました。今年は、3年次編入生を含む歯学科44名、口腔生命福祉学科25名、学生アシスタント6名、教員24名、職員3名の参加となりました。この研修は、新潟大学歯学部に入學した新入生に対して、教員、職員、同窓生およびクラスの仲間との交流・親睦を図ることを目的として企画されています。昨年度に引き続き教員として2度目の参加でしたので、少し気持ちに余裕が持て、自分自身が新入生として参加した13年前のことを懐かしく思い出しながらの参加となりました。

初日はメイワサンピアに到着してすぐに集合写真の撮影をしました。入学式からまだ4日目のまだお互いの顔や名前がわからないなかで緊張しつつもみんな笑顔で写っています（写真1）。会場に移動して開会式が行われました。前田健康歯学部長挨拶に続き参加教員の自己紹介のあと、健康管理や歯学部のカリキュラムなどこれから4年間

もしくは6年間を送るにあたり必要な事項の説明がありました。その後PROGテストが行われ、1時間40分集中して回答していました。PROGテストとは知識の有無を問う従来のテストとは異なり、実際に知識を活用して問題を解決することができるか（リテラシーテスト）、実際にどのように行動するのか（コンピテンシーテスト）を測定し、自己理解を深めるものです。後日送られてくるフィードバックで自分自身では気付かなかった特性を発見し、今後の進路決定に役立ててもらえることを期待したいと思います。

その後、予め決められた8～9名のグループに分かれ、教員を含む参加者全員がネームプレートを作成し自己紹介を行いました。ニックネームで作成したことでだいぶ距離が縮まり、そのまま和やかな雰囲気ですぐに昼食休憩となりました。2年生の学生アシスタントもここから参加となり、この2日間のサポートを説明する頼もしい姿に、新入生にとっては1年後の目標として映ったのではないのでしょうか。



（写真1．集合写真）

昼食後は「砂漠で遭難したときにどうするか (NASAの問題)」という題目で、質問文の中の12の品物を重要だと思う順に並べ、グループ討論の後にグループ全体意見としての順位を決定しました。グループ討論では進行役を買って出るひとや自分が決めた順位を譲りたくないひと、なかなか意見を言えないでいるひとなど様々でしたが、討論が進むにつれみんなうまく他人の考えと自分の考え両方を織り交ぜて、最終的には班員全員が納得する順位を決定できていました。ほとんどの班で討論前の班員の平均点数よりも討論後の班の点数の方が高得点となり、自分1人で物事を考えるよりも他人と意見交換をすることでより良い結果を導き出せることを実感できたのではないのでしょうか。これからの学生生活でも生かしてほしいと思います。

アイスブレイキングが済んだところで「面接試験を再考しよう！」という題目で入試の面接試験の質問内容についての問題点と受験生の視点から見た適切な質問内容を検討しました。それぞれが印象に残っている質問内容を書き出し、仲間分けし、その理由付けをして発表プロダクトを作成す



(写真2. 自己研鑽セミナー)

る (K-J法) のですが、アイスブレイキングの効果でこのころにはもう自分の意見を言うことに躊躇する様子は見られず、発表も助け合いながら、堂々と話せていました (写真2, 3)。

夕食は学生アシスタントの2年生が準備してくれたくじ引きで席を決めたので、午後ずっと一緒だった班とは別の同級生と話す機会がもたれました。途中から学生による部活動紹介が始まりましたが、様々な部活の映像による紹介や実演、その後の勧誘と、部屋の温度が上がるくらい熱気に満ちていました。歯学部単独の部活だけでなく医学部や全学との合同の部活や国際交流サークルなど私が学生だったころよりもいろいろな部活があり、それぞれに魅力的でした。掛け持ちをしている学生さんが多いのもうなずけます (写真4)。

夕食の後は宿泊棟の一室で教職員との懇親会がもたれ、部屋に入りきれずにロビーまで使って、教職員や新入生同士で真面目な話から冗談話までざっくばらんに話をして、就寝時間ぎりぎりまで盛り上がっていました。

2日目は朝食後に学生アシスタントによるガイダンスとクラス幹事選出、教員から学生支援やセ



(写真4. 部活動紹介)



(写真3. 自己研鑽セミナー)



(写真5. BLS講習)

クハラ相談についての説明がありました。その後、麻酔科の先生方による一次救命処置（BLS）と自動体外式除細動器（AED）の講習会有り、新入生全員がマネキンを相手に人工呼吸や心臓マッサージ、AED装着の実習を行いました。1日目の「面接試験を再考しよう！」では面接内容で命を扱う職業に対しての自覚を問われる質問に戸惑いを覚えた新入生がいたようでしたが、この

講習をきっかけに歯科医師や歯科衛生士、社会福祉士として医療に携わる心構えが芽生えたことと思います（写真5）。

小林正治副病院長と宮崎秀夫副学部長の挨拶で閉会式となり、2日間の研修が終了しました。今回の研修のようにこれからの学生生活でも互いに助け合い切磋琢磨し、充実した歯学部生活を過ごしてほしいと思います。

